

スマイルライフ通信

平成28年 6月

NO. 3

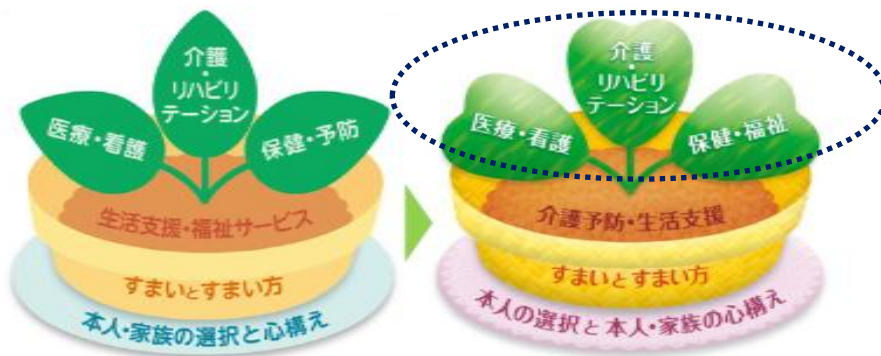
徳之島地区 医療・介護連携推進事業

～ 最期まで自分らしく笑顔で過ごせる島を目指して ～

平成28年度が始まったかと思えば、もうすでに2ヶ月が過ぎました(^_^;) 新年度は、各所で人事異動がありました。狭い島の中、どこにいても、学んだ知識や経験、いままで培った人間関係は、新たな職場や持ち場でも活かせると思います。大変な面もありますが、さらなる成長や幅が広がるチャンスでもあります。人が変わっても、目指すことは変わりません。いっぽ、一步を大事にすすんでいきましょう。

地域包括ケアシステムの「植木鉢図」 バージョンアップ

<進化する地域包括ケアシステムの「植木鉢図」>



- 専門的な福祉ソーシャルワークの位置づけ
- 予防活動は生活の中で！
- 「本人」の選択を基本とする。

報告書の全文もネット上に公開されています。ぜひご一読ください。

※「地域包括ケア研究会 地域包括ケアシステムと地域マネジメント 平成28年」で検索※

【第1回 運営委員会】

4月15日に開催しました。今年度は、従来のメンバーに加え、新たに医療介護の連携の要である医療ソーシャルワーカーさん2名に参加していただくことになり、さらなる連携強化、事業推進にパワーが加わりました。

<昨年度の評価・今年度の企画について主な意見>

1. 施設対象の研修会が開催でき、講演や発表事例内容も良かった。今年度は具体的なケア現場への研修が開催できれば。
2. 本人、家族（住民）の意識が大事と思った。住民啓発事業に取り組むことが必要。今年度は担当の天城町を中心に住民啓発がすすむように企画していきたい。
3. 鹿児島大学の派遣事業は今年度も活用していく。また、元副看護部長の田畑さんが「メッセンジャーナース」として独立。看護職対象の研修会や、事例検討会などの依頼をしていきたい。

徳之島地区 認知症施策推進事業 開始！

～認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域づくり～

「認知症初期集中支援事業に関わる研修会・検討会」開催

平成27年12月19日(土) 徳之島町社会福祉協議会

「認知症初期集中支援事業」は、行政だけでなく、地域のネットワーク構築と認知症ケア・対応力の向上、地域を含む多職種チームケアを総合的に推進していくことが大事です。関係者に広く事業を周知するとともに、課題を共有し、連携、協力体制を構築していくため、事業開始にあたり研修会及び検討委員会を開催しました。



<黒野明日嗣先生の講演>

< 第1回 認知症初期集中支援チーム員会議 >

3月25日(金)徳洲会病院会議室にて第1回の初期集中支援チーム員会議を開催しました。

チーム員に加え、検討事例に関わる関係職種として、徳洲会病院の医師・看護師・MSW、社協職員等も参加していただき、提出された3事例についてそれぞれの立場からの意見、今後の支援方針についての検討を行いました。

今後も、相談対応及びチーム員会議を積み重ねていくことにより、チーム員の対応力の向上、及び関係機関の共有理解・連携強化につながっていくことと思います。



～家族支援や地域での見守り・サポートも大事～



認知症カフェ「暖(だん)らん」



公民館で開催された
認知症サポーター養成講座

■ 「認知症サポート医」とは ■

認知症初期集中支援チーム員には、「認知症サポート医」の参加が必須です。

「認知症サポート医養成研修」は、年6回程度、2日間の日程で全国各地で開催され、県を通じて受講申し込みをします。現在、徳之島地区のチームには、谷山病院から黒野先生に加わっていただいています。本来は島内在住の医師が「認知症サポート医養成研修」を受け、認知症疾患医療センターの専門医との連携のもとにチームに参加することが、島内での日常的な連携や支援体制の強化につながると考えます。

認知症高齢者の暮らしをサポートし、チームに参加していただける島内在住の医師募集中です！

自立支援に向けたケアマネジメント力を高める！

「地域ケア会議(ケアマネジメント検討会)」



3町地域包括支援センターと居宅介護支援専門員による「ケアマネジメント検討会」平成27年から新バージョンで再開しました。主任介護支援専門員を中心に、リハ職などの多職種が加わり、自立支援に向けたケアマネジメント力の向上とチームケアの強化に取り組めます。

高齢者の意欲と元気を引き出し、暮らし・地域につなぐことができる徳之島地区の介護支援専門員は地域包括ケアの中核を担う存在です。

今年度中、居宅全員が参加し、学びあい、育ちあいの場として実施していきます。

【連携シートご活用ください】

平成28年1月22日、3医療機関関係者とケアマネジャー代表者等により、医療と介護の連携体制の検討を行いました。入退院時の連携・情報提供のあり方、方法等について協議し、各医療機関の窓口や入退院時の情報連携シートを作成しました。

様式等は徳之島町公式HPに掲載されていますのでご活用ください。

「施設ケアの質向上支援研修会」

平成28年3月25日(金)徳之島保健所会議室



人生の最後まで、その人らしく尊厳を持って暮らし続けるためには、在宅でも施設でも、ケアの質を高めることが必要です。また、地域包括ケアシステム構築に向けて、医療・介護の連携を強化し、本人・家族が「最後まで、どこで・どのように過ごすか」という多様な選択肢を保障できる体制づくりが望まれます。

島内の各介護保険施設及びグループホームにおけるケアの質向上を図るとともに、本人を中心とした尊厳あるケアを人生の最期まで受けることができる地域づくりにつなげることを目的として開催されました。

老人保健施設「愛と結の街」施設長の立場から黒野先生が講演され、また島内の3施設から自施設での取組みについて事例発表を行いました。

各施設長をはじめ、看護・介護主任、相談員等が参加され、施設のケアの質向上について学びました。

■「施設ケアの質向上支援研修会」での発表事例■



グループホーム港ヶ丘
(林むつみさんと徳洲会病院の木原寿美子さん)
・グループホームでの医療連携加算について
訪問看護師(医療専門職種)がサポートに加わる
ことにより、入居者の状態の把握や早期対応、入
院後の早期退院など日常的な観察やケアの質向
上につながり、家族の安心にもつながっている。

介護老人保健施設 サザンコート
(行加枝子さん)
新規開設後、スタッフ全員で自立支援に向けたチ
ームケア体制に取り組んでいる。
在宅復帰を支援する施設として、入所時の面談・ア
セスメントから、在宅での生活を意識したチ
ームでの取り組み等により、在宅復帰率は61%。



特別養護老人ホーム 仙寿の里
(牧園ゆかりさん)
施設理念のもと、職員1人1人が基本的なケアを
しっかり行えるように日々徹底、検討している
ヒヤリハットの提出検討、気づきや確認の徹底、
施設内研修など、入居者ひとり1人を大事にし「人
間としての命が最期まで輝く支援」を！

平成28年度「ケアの質向上支援研修会」のご案内

平成28年7月1日(金)18:30～徳之島町社会福祉協議会

管理者対象の前回研修会に続き、今回は施設・在宅も含めたケア現場の方々を対象とした
「認知症ケア・看取りケア」の研修を開催します。

医療福祉関係者も参加可能ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

【編集後記】

記事編集をしながら、保健医療・介護福祉はすべて人・・・と改めて感じます。
ケアの質向上支援研修会での島内施設の発表に、島の施設の方々が日々努力し頑張っているこ
とに感動し、新バージョンで始まったケアマネジメント検討会では居宅の主任ケアマネジャー
の成長を実感してまた感動・・・。
人が育ちシステムが育つことが地域包括ケアシステムそのものではないでしょうか。
島だからこその学びあい・育ちあいの場づくりを今後も積み重ねていけたらと思いま
す。

【事務局：徳之島町地域包括支援センター】